

第10回 看護師(特別支援学校)スキルアップ講習会のご案内

医療的ケアの必要な児童生徒数は、年々増加の傾向にあります。それに伴い、看護師数も増加しておりますが、安心・安全で信頼感のある医療的ケアの提供のためには、知識・技能等の専門性を高める質の高い研修が必要です。このことに鑑み、これまで多くの方々のご支援を得て、研修の機会を提供してまいりましたが、今年度は、第10回の記念すべき年となりました。

この度、下記の内容を企画し、開催いたしますので、ご参加のほど、ご案内申し上げます。

- 1 日時 平成28年7月28日(木)～7月29日(金)
- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 501
最寄駅 小田急線参宮橋(JR新宿駅から2駅) 駅下車 徒歩7分
東京メトロ 千代田線 代々木公園4番出口 徒歩10分
- 3 主催 特別支援学校看護師研修推進協議会
- 4 後援 文部科学省
全国特別支援学校長会
公益社団法人 日本看護協会
- 5 参加費 3000円 (資料代を含む)
- 6 定員 120名 対象は特別支援学校等の看護師等
- 7 内容

7月28日(木) センター棟5階 501

- 10:30～11:00 あいさつ 第10回を記念して
特別支援学校看護師研修推進協議会 会長 三室秀雄他
- 11:00～12:00 講演1 「“もみじの家”の紹介」
国立成育医療研究センター「もみじの家」看護師長 滝本 悦子
- 12:00～13:15 (昼食・休憩)
- 13:15～14:15 看護師等の実践報告
報告1 大阪府立箕面支援学校 学校看護師 久保田牧子
報告2 愛知県立岡崎盲学校(前岡崎特別支援学校) 養護教諭 富田 都子
- 14:15～14:30 休憩
- 14:30～16:30 講演2 「重症心身障害児の医療」
講師 東京都立東部療育センター 副院長 岩崎 裕治

7月29日(金)

9:30～12:00 (午前の部 コース1～3)

【コース1 からだへの支援・演習講座 1】 センター棟402 (定員30名)

～ボディイメージの形成 **定員を超えました。**

医療的ケアの必要な子どもの中には、身体 **他のコースをご希望** もがいます。たんの吸引や経管栄養の際には、姿勢づくりに配慮が必要です。この **ください。** 点」に立った講義・演習を行います。

講師 東京都立大泉特別支援学校 主幹教諭 猿橋 隆夫
NPO法人地域ケアさぼーと研究所 理事長 飯野 順子

◆服装・持ち物 実技ができる服装、バスタオルを持参ください。

【コース2 医学に関する講座 1】 センター棟403 (定員60名)

～重度障害児の口腔ケア(オーラルケア)について～

口腔ケアは、単に歯磨きをして、う触や歯周病を予防することだけを目的とするのではなく、誤嚥性肺炎等の感染症による全身の影響を予防する目的もあります。本講座では、口腔ケアの基礎・基本を学びます。

講師 日本歯科大学口腔リハビリテーションセンター多摩クリニック 児玉 実穂

【コース3 学校生活の支援講座 1】 センター棟304 (定員40名)

～指導看護師の役割と実地研修のポイント～

「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正に伴い、法制度上教員によるたんの吸引等が可能になりました。その中で、実地研修については、指名された看護師による指導も行いうようになってきています。本講座では、法制度等を理解し、研修に当たって、指導看護師の指導上の工夫やポイント等について、学びます。

講師 NPO法人地域ケアさぽーと研究所 理事 下川 和洋 看護師 齊藤 秀子

12:00～13:00 (昼食・休憩)

13:00～16:00 (午後の部 コース4～6)

【コース4 からだへの支援・演習講座 2】 センター棟402 (定員30名)

～重度障害児の円滑な排痰の定員を超えました。法)～

呼吸障害に関する知識を高め、排痰を円滑に他のコースをご希望に支能を高めます。今年度は、これまでの演習を基礎・基本にし、グレードアップしてください。

講師 横浜療育医療センター 理学療法士 花井 丈夫

講師 心身障害児総合医療療育センター 理学療法士 直井富美子

◆服装・持ち物 実技ができる服装、バスタオルを持参ください。

【コース5 医学に関する講座 2】 センター棟311 (定員60名)

～呼吸障害に関する事例検討～

呼吸障害に関する事例を取り上げ、その対応等について、講師の方から講義をしていただきます。「呼吸障害の対応上困難な事例・困った事例」「工夫してうまくいった事例」「課題のある事例」等について、「実態」「経過」「直面している課題」「事例への質問事項」等を記入し、メール等で事務局にお寄せ下さい。

講師 社会福祉法人慈恵療育会 相模原療育園 施設長 細田のぞみ

【コース6 学校生活の支援講座 2】 センター棟304 (定員40名)

～重度障害児のコミュニケーション支援～

病気や障害のある児童生徒は、家庭や学校生活では患者でも患児でもなく、学習する子どもです。学校において子どもの気持ちに寄り添う看護を提供しようとする時、子どもたちとのコミュニケーションは重要です。重度障害児とのコミュニケーションにおける配慮や技法について理解と技能を深めます。

講師 女子栄養大学 非常勤講師 下川 和洋

8 申込み方法

(1) はがき (往復はがき) 又はメールで、下記に申し込んでください。2日間の参加が原則です。

(2) 記載事項

①氏名 ②所属 ③連絡先住所 ④電話 (自宅又は所属先)

⑤第2日目午前のコース ⑥第2日目午後のコース

※往復はがきの場合は、「返信」面に、ご自身の住所・氏名を書いてください。

(3) 締め切り 申し込みの締め切りは、7月19日 (火) です。

(4) 宛先

①はがきの場合 187-0035 東京都小平市小川西町4-34-2

NPO法人地域ケアさぽーと研究所 下川 和洋

②メールの場合 ccsupport@jcom.home.ne.jp 下川 和洋 (題名に「看護師講習会参加申込み」と記入)

【問合わせ先】 飯野 順子 メールアドレス NBK10659@nifty.com
下川 和洋 メールアドレス ccsupport@jcom.home.ne.jp